

教員向け AI・ICT 活用実践研修



HELLO WORLD!

HelloWorld 株式会社

所在地 ● 〒900-0001 沖縄県沖縄市中央1-7-8 TEL ● 050-1743-2566 MAIL ● seminar@hello-world.city

事業目的

本取組は、文部科学省策定の「生成AI利活用ガイドライン Ver.2.0」に基づき、**教育の質の向上と働き方改革の両立**を目指し、沖縄県内教員に対してAI・ICT活用の実践力を育成する研修を提供するものです。沖縄県では教員の業務負担が大きく、働き方改革が喫緊の課題とされています（県「働き方改革推進計画 令和6～8年度」）。生成AIやICTの活用は校務効率化と教育の質向上を両立する有効な手段として注目されており、教員が実践的に活用できるスキルを習得する機会の整備が急務です。児童生徒ではなく多数の児童生徒を教える教員に研修を実施することで波及効果を最大化。単に研修受講者数を追うのではなく、**各学校のリーダーになるような教員を養成**することを目指しました。

事業内容

「**教員が明日から使える**」をテーマに、現場で実践につながる具体的なトピックを用いて研修を実施しました。文部科学省策定の「生成AI利活用ガイドライン Ver.2.0」に基づき、著作権・個人情報・情報モラルといった前提となる基本知識に加え、通知文の作成・アンケート集計・英語授業での活用・探究活動など具体的な場面を扱い、**校務・授業の両面に活かせる活用法を提供**しました。研修後の実践フェーズにおいても、専用チャットグループによる個別QA対応を可能とし、教員が安心して活用を続けられる体制を構築しました。

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

実践研修①

オンライン&
対面ワークショップ

学校現場で先生による実践

参加者コミュニティの活用・先生の職場内での展開・必要に応じたサポート

実践研修②

オンライン&
対面ワークショップ

先生による
実践

実践
報告会

個別（小規模）訪問研修

※この他、学校からニーズのあった生徒向けリテラシー研修を実施

- ① 教員向け AI・ICT 活用実践研修
オンライン集合研修（60分）と1週間後の対面ワークショップ（120分）で、生成AIの基礎知識・ガイドライン解説から、保護者への連絡文作成・授業アイデア・生徒指導などを題材としたワークショップ、参加者間の成果発表まで、段階的に実践力を育成する研修を実施。
- ② 個別（小規模）訪問研修
①の内容をもとに、学校の事情に合わせた小規模研修（数名～）を実施。
- ③ 教員向け AI・ICT 活用実践報告会
研修を受講した教員3名が登壇し実践事例を発表。
- ④ 生徒向け AIリテラシー講話
文科省ガイドラインに基づく生徒向け講話を実施。生成AIの特性・リスクを知った上での正しい活用方法を指導。

※沖縄県教育委員会から後援を受け実施

事業成果

プログラム名	当初計画 実施回数	実績 実施回数	当初計画 参加人数	実績 参加人数
① 教員向け AI・ICT 活用実践研修 (オンライン&対面 ワークショップ)	2回	2回	200~300名	41名
② 個別(小規模) 訪問研修	20~30回	154回		234名
③ 教員向け AI・ICT 活用実践報告会	1回	1回	80名	16名
④ 生徒向け AIリテラシー講話	-	1回	-	約450名

※実施回数が当初計画を大幅超過した理由：学校での時間確保が難しいことが判明し、1校に対し複数回の小規模研修を実施する方針に変更。参加人数は当初計画通りに進行。

【告知チラシ・特設サイト】

参加費 無料!

HELLO WORLD!

令和7年度 沖縄未来のIT人材創造事業
後援：沖縄県教育委員会

沖縄県内の小学校・中学校・高等学校の教員向け

教員向け AI・ICT活用実践研修

～明日から使える実践入門～

オンライン研修 2025年8月13日(水) 16:00~17:00

対面ワークショップ 2025年8月20日(水) 15:00~17:00

AIを正しく活用し、教育の質向上&業務効率化!
「AIを使ってみたくて、何から始めればいいのかからない」「本当に教育現場で役立つの?」そんな疑問をお持ちの先生方のための実践研修です。文部科学省の「生成AI活用ガイドライン Ver.2.0」に沿って、先生方が安心して日々の業務で使えるAI活用術を、教育現場を知るAIコンサルタントが分かりやすく解説します。

講師：井上 航
ストックマーク株式会社 生成AI活用DX推進コンサルタント

本研修の特徴

- AI未経験/初心者を想定した、段階的に学べるやさしい設計
- 参加者同士が交流しやすい小規模開催
- 沖縄県の働き方改革推進計画に沿い、実際の現場課題を想定
- 専用のチャットグループで継続的な活用・実践をサポート

会場 【オンライン研修】Zoomを予定
【対面ワークショップ】Lagoon KOZA (沖縄市)
お申込前に、別途詳細をご案内いたします。

定員 20名(先着順)

対象者 沖縄県内の小学校・中学校・高等学校の教員
教育現場でのAIの活用についてのアイデアやヒント、実践の機会を得たい方であれば、教科・役職に関わらず大歓迎です。

後援 沖縄県教育委員会

お申込みお問合せ 右記QRコードからお申込みください。お申込みいただいた方には seminar@hello-world.city よりメールをお送りいたします。
【主催】HelloWorld株式会社
沖縄県沖縄市中央1-7-8 TEL: 050-1743-2566 (平日9:00-18:00)

HELLO WORLD!

令和7年度 沖縄未来のIT人材創造事業
後援：沖縄県教育委員会

オンライン 無料開催

沖縄県内の小学校・中学校・高等学校の教員向け

AI・ICT活用実践報告会

～学校現場での授業・校務活用事例～

2026年2月25日(水) 16:00~17:00

学校現場でのAI活用事例を共有!

本報告会は、沖縄県内の教員を対象に実施した「教員向け AI・ICT 活用実践研修」の集大成となるイベントです。

GeminiやChatGPTをはじめとした生成AI技術が急速に発展する中、学校の授業や校務への適切な活用は喫緊の課題となっています。本取り組みは、文部科学省の「生成AI活用ガイドライン Ver.2.0」に基づき、「教育の質の向上」と「働き方改革」の両立を目指して進めてまいりました。

研修を受講した教員の皆さんが、実際に学校現場でAIを活用し、どのような成果が得られたのか。その「生の声」と、明日から使える「具体的なユースケース(通知文作成、授業活用等)」を共有します。

【研修実施の様子】



オンライン集合研修の様子



対面ワークショップの全体講義

【研修実施の様子】



対面ワークショップのグループワーク




対面ワークショップでの集合写真



沖縄工業高校での生徒向け講和

AI・ICT活用実践報告会

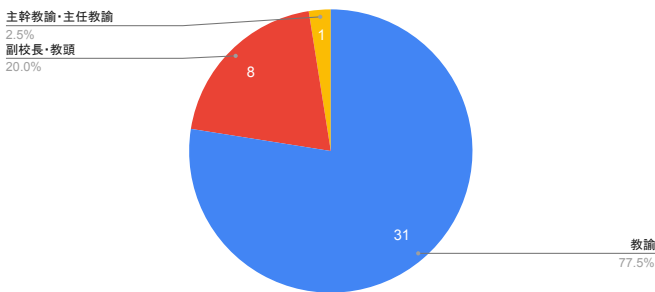
- 16:00-16:10 開会挨拶・事業報告
- 16:10-16:25 事例共有① 沖縄市立高原小学校 仲間悦子先生
- 16:25-16:40 事例共有② 沖縄市立諸見小学校 金子健一先生
- 16:40-16:55 事例共有③ 沖縄県立中部商業高校 小那覇親先生
- 16:55-17:00 クロージング



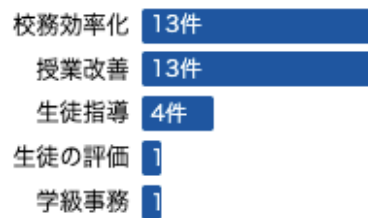
オンライン実践報告会のアジェンダ

【個別研修・参加者アンケート結果】

➤ 参加者情報

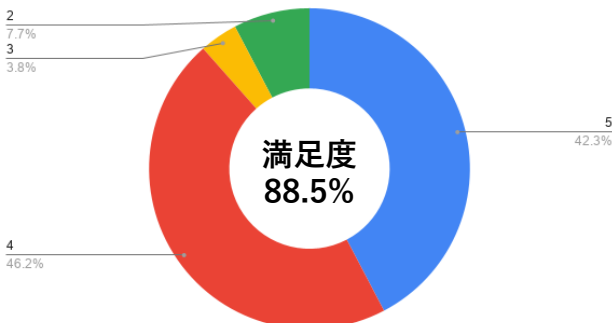


特に解決したい課題（複数回答・対面研修）

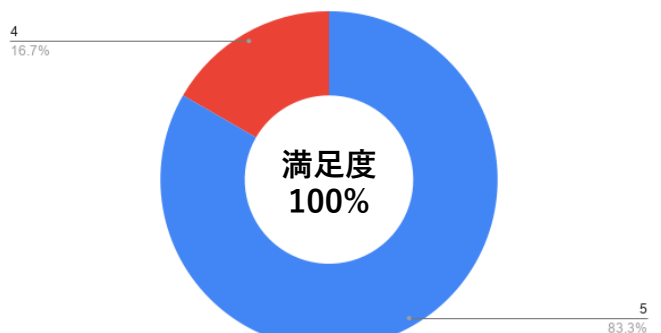


➤ 研修後満足度

オンライン集合研修



対面ワークショップ研修



※円グラフ真ん中の数値は「5.とても満足」「4.満足」の合計数値

➤ 研修後の参加者コメント・意欲

- 60分という短い時間内に早いテンポで展開されていてとてもよかった。内容も無駄なものは省いていて聞きやすく、参加しやすかった。
- 生成AIを使って、授業で使える指導案やアイデアだけでなく、校務でも使い方しだいでだいぶ有効に使えることがわかった。
- 文章作成や分析、動画などそれぞれ得意なものがあるというのがわかった。
- 他の校種や教科の先生方の交流やワークを通じて自分の具体的な活用イメージを持つことができた。
- 同じプロンプトを入力しても、使うAIによって結果の内容が異なること、提案されるアイデアが具体的に選択肢の一つにできる。最後はセキュリティや使う側の情報リテラシーも大切になることを意識して使っていきたいと思った。
- 報告会に参加し、研修にも参加したいと思った。次回も同じような内容があるとうれしい。

【対面研修後】AI活用への不安・抵抗感の変化

86.7%が改善と回答

■大幅に改善：60.0%

■改善：26.7%

■変化なし：13.3%

【実践報告会・発表内容】

研修に参加した教員3名（小学校教頭2名・高校教諭1名）が登壇し、校務・授業両面での実践事例を報告。「AIは手段、人間中心を忘れずに」を共通メッセージとして、研修成果の現場定着を確認。



仲間悦子先生（沖繩市立高原小学校・教頭）

【実践事例】

- 文書作成や掲示物作成における作業効率化
- 大量ページの資料読解 など



金子健一先生（沖繩市立諸見小学校・教頭）

【実践事例】

- 音声入力による作業時間短縮
- カスタムGeminiやノーコードアプリ開発



小那覇親先生（沖繩県立中部商業高校・教員）

【実践事例】

- 生徒指導や授業での問題解説の補助活用
- Teamsガイドラインなど文書作成の効率化

【個別（小規模）訪問研修 実施校】

那覇市（12校）

石嶺中・鏡原中・古蔵中・松城中
安岡中・真和志中・石田中・仲井真中
神原中・城北中・金城中・小禄中

寄宮中・首里中・上山中

石垣市（10校）

大浜中・伊原間中・川平中・石垣二中

崎枝中・石垣中・富野中・白保中・名蔵中

県立校（8校）

美里工業高・糸満高・那覇工業高
本部高・沖縄水産高・八重山高・南部商業高

開邦中・普天間高

本部町（6校）

本部小・本部中・伊豆味小・上本部小・上本部学園中・瀬底小

伊平屋村・伊江村・南大東村

伊平屋小・野南中・伊江小・伊江中・南大東中

沖縄市（8校）

宮里中・越來中・美東中・沖縄東中

コザ中・美里中・山内中

浦添市（2校）

浦添中・浦西中

宮古島市（5校）

北中・西辺中・城東中・伊良部島中・下地中

うるま市・北中城村

与勝第二中・北中城中

久米島町・粟国村

球美中・久米島西中・粟国中

東村（3校）

東小・高江小・有銘小・東中

金武町・宜野座村

金武小・金武中・嘉芸小・松田小

名護市（14校）

名護小・名護中・東江小・東江中

大宮小・大宮中・羽地小・屋部小・屋部中

真喜屋小・稲田小・緑風学園・大北小・瀬喜田小

豊見城市（2校）

伊良波中・長嶺中

西原町・与那原町

西原中・与那原中

座間味村・渡嘉敷村

座間味中・阿嘉中・慶留間中・渡嘉敷中

国頭村（7校）

国頭中・安田小・奥小・安波小・辺土名小

今帰仁村（5校）

今帰仁中・今帰仁小・天底小・兼次小・兼次中

大宜味村・伊是名村

大宜味中・伊是名中

課題点

① 教育現場での継続的な活用定着

研修を単発で終わらせず、教員が継続的にAI・ICTを活用し続けるには、管理職・ICT担当者を中心とした校内実践共有・フォローアップの仕組み構築が鍵。

→ 今回の研修では、実践・サポート・報告会までを一連の流れとして設計することで対応。研修参加者が各校の実践リーダーとなることを目指した。

② 報告会の参加者規模

当初目標80名に対し16名にとどまった。時期の検討に加え、広報・集客の強化が課題。

→ 次年度はリアル開催・オンライン同時配信を組み合わせ、早期告知と関係機関との連携強化により規模拡大を図る。

③ 自治体・教育委員会との連携強化

学校からの問合せがあったことから現場ニーズは一定確認できた。事業の広域展開には市町村教育委員会の理解と協力が欠かせない。

→ 社内の既存の事業基盤を活用することで、スピーディな連携・展開を目指す。

④ 教員のICTスキル格差への対応

参加者のAI活用経験は「ほとんど使ったことがない」から「日常的に使っている」まで幅広く、一律の研修では効果にばらつきが生じる。

→ 専用チャットグループによるオンライン個別サポート体制を構築。次回は初心者～応用編の段階別コース設計を検討。

⑤ コンテンツの更新・技術変化への対応

生成AIの技術進化は非常に早く、数か月単位でトレンドや使い方が変わる。

→ 事業化による収益確保と専門家との連携体制により、持続的なアップデートを可能にする。

今後の展開

■ 社会的意義と波及効果

全国的にも先進的な「生成AI教育の研修モデル」として機能しうる取り組みです。報告会で示された通り、教員のICTリテラシー向上が校務の省力化（通知文作成が1時間から5分になる、音声入力で時間1/3～1/5削減等）と授業の質的変革（授業発話分析、ノーコードアプリ開発等）に直結することが実証されました。沖縄県全体のICT教育力の底上げにつながると考えられます。

■ 事業化に向けた強み

弊社が沖縄県内にもつ事業基盤・ネットワークを活用し、パッケージ化した研修教材・動画の提供と教育委員会向け年間導入プランの整備を検討します。